

## 実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

### ■活動概要

助成年度	令和7年度
助成団体	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	NAGASE カップ陸上競技大会
助成金額	6,038,000 円

スポーツ団体スポーツ活動助成（スポーツ教室、スポーツ大会等開催）で一般社団法人日本パラ陸上競技連盟が行っている「NAGASE カップ陸上競技大会」の実施状況について調査を行いました。

本大会は、障がいのある人もない人も、トップアスリートも自己ベストを目指す愛好者も、大人から子どもまで、すべてのアスリートが集い、陸上競技に親しみながら共に競うことで、お互いの理解と尊重を深めることを目的とした「誰もが参加できるインクルーシブな大会」をコンセプトとした大会です。大会を通じてすべてのアスリートの次への挑戦を後押しするとともに、多様性を認め合う「インクルーシブの輪」を社会全体に広げていくことを目指しています。

本年度は、東京 2025 世界陸上競技選手権大会や東京 2025 デフリンピックが開催された影響もあり、本大会の申し込みについては募集開始後すぐに定員に達し、早期満員となったそうです。また、国立競技場で開催することで、「国立で走ることができる」という大きなモチベーションとなり、参加者増加にもつながっているそうです。

### ■助成の意義

くじ助成を活用したことで、会場として使用した国立競技場の借料負担を軽減することができ、今後も継続的に事業を実施できる運営体制の確保に繋がったとのことでした。

また、借料が軽減されたことで、チラシや大会グッズの制作や選手への飲料水の配布が可能となり、広報効果の向上や安全で快適な競技環境を整えることが可能となりました。

### ■事業効果を高めるための取り組み

本大会は世界パラ陸上競技連盟公認大会であり、競技で得られた記録や順位に応じて世界ランキングポイントが付与されることから、参加者が増加し海外からの参加者も見られたそうです。さらに、会場が国立競技場であることから、世界ランキングの対象とならない子どもの参加者も多いとのことでした。

また、子どもたちの参加募集を行ったことで、保護者の来場が促進され、観客数の増加に繋がることから、より多くの人にパラ陸上競技の魅力を直接伝えることができたようです。

## ■その他

現在パラ陸上の大会自体が少ないこと、陸上競技は競技特性上、共生社会のためのインクルーシブな大会を比較的实施しやすいことから、本大会は、継続して行っていききたい事業だそうです。

大会中は、背景の異なる選手同士や、選手とスタッフの間にも交流が生まれ、お互いを理解し尊重する姿勢の促進に繋げることができているようです。

今後は、陸上競技シーズンである4月頃から10月頃の開催を目指すとともに、大会当日のライブ中継や観客が参加できる体験会等のイベントを実施して、観客数を増加し、より臨場感を持って観戦できる大会にしていきたいとのことでした。

## ■所感

今回の「NAGASE カップ陸上競技大会」の調査では、年齢や性別、競技経験や障がいの有無にかかわらず、参加者が陸上競技を心から楽しみ、自分の限界に挑戦している姿を目の当たりにしました。こうした姿は、競技の楽しさや挑戦する意欲が多様な人々に共有される機会であることを改めて実感しました。今後も継続的な事業が実施されることで、共生社会への意識醸成がさらに広がっていくことを期待しています。

(令和7年11月23日往査)

(写真) NAGASE カップ陸上競技大会の様子

